

◆評価コメント（案）

【申請団体①】

本申請団体は、「保護者が安心して託せる子どもが笑顔になれる居場所、そして子どもたちの明日を育み、今日を支える」を運営理念・方針として、児童会室における保育について、学習、遊びに関する指針、低学年と高学年などそれぞれにおいて重視することなど、保育の考え方が示されている。これらは、枚方市が実施する放課後子ども教室の方針にも沿った内容である。

また、49 か所の施設で、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に運営してきた実績を有し、さらに多くの施設で学童保育などの運営実績もあり、このような運営実績に基づく経験知の共有により、放課後子ども教室運営の効果が期待できる。

予算についても違和感のない実現可能性と決算状況等財務内容についても健全であると思われる。

一方、人員配置に関する枚方市の要求事項を十分に理解できていない点があり、要求事項に対応した場合、提案委託料での業務履行が可能か疑義がある。

【申請団体②】

本申請団体は、経営方針・経営目的として「仕事と家庭の両立」「未来を担う子どもたちの成長応援」を掲げ、さらに、それぞれの事業の目標及び行動指針・計画等を具体的に記述し、申請団体の理念・目的・運営方針が系統的に理解できる。これらの目的・方針等は、枚方市における放課後子ども教室などの運営方針に沿うものである。

運営面では実績のある事業者で、創業以来黒字経営を続け経営基盤も安定している。

収入の3つの柱があり、数多くの事業所を運営しているため、人員についても臨機応変な対応が見込まれる。現時点で考えている人員の年齢層について、一歩踏み込んだ説明がなかったものの、統括責任者等に正社員を就任させ、あるいは臨時のパート職員を可及的に少なくするとの方針は魅力的である。

プレゼンテーションにおいて、真摯に対応していただいた姿勢は、皆でサポートしあうという法人の雰囲気が出た。また、コロナ禍に対しての見解や方針も相応に理解できるものであった。

これらを踏まえ、本申請団体は、安心して放課後キッズクラブ事業の運営を任せられる法人であると判断する。

なお、本申請団体は、すでに多くの経験知を有し、それらを広く共有することが可能であり、充実したプログラムになると考えられるが、有料とならざるを得ないプログラムに関し、参加できない児童に対し、格差感を生じさせない工夫に努めて頂きたい。

【申請団体③】

本申請団体は、「教育の目的は子どもの自立」として、4つの成長ステップ、すなわち「希望」「やる気」「向上心」「達成感」とし、「まっすぐに育つ力」を育成するとしている。このような考え方は、枚方市の放課後子ども教室の「子どもの自由で創造的な生活の場を提供したい」という理念とは、異なる方向性を向いていると考えられ、理念等に係るプレゼンテーションでの説明にやや不明瞭な点が生じたことは残念であった。

本申請団体は、夏期・冬期等講習会、英語課外授業等の多くの学習支援事業の実績を有し、放課後子ども教室については、2か所の小学校で実績を有しているが、枚方市における放課後キッズクラブ運営方針及び事業計画に関しては、概念的であり、人員配置や日々のスケジュール、職員の研修体制など具体性に乏しく、細部に至るまでの現状把握がなされていないと判断せざるを得ない。

【申請団体④】

本申請団体は、家庭教師派遣事業や個別教室運営事業のほか、放課後児童クラブ運営も100を超える施設での運営実績を有し、放課後事業を、生活・交流・体験・遊びの場を統合した「安全安心な居場所の提供」と位置付けている。これらは、枚方市の放課後子ども教室事業の考え方と異なるものではなく、運営に関する計画で、枚方市に視点をあてた具体的な計画を入れていることを評価する。教育現場についても熟知され、年間計画や実例による行事説明、また環境変化による子どもの精神状態への負担軽減など子どもを主体とした「現状をより良くしていく」という意気込みが感じられた。

一方、人員配置に関する枚方市の要求事項を十分に理解できていない点があり、要求事項に対応した場合、提案委託料での業務履行が可能か疑義があること、また、障害者法定雇用率達成に向けた具体の提案が示されておらず、実現可能性が低いと判断せざるを得ない。